



# 八坂小通信

平成24年 4月 6日  
第607号  
練馬区立八坂小学校  
校長 西山 守

## 好きこそ

校長 西山 守

桜の開花が少し遅れ、ようやく見頃となってきた中で、平成24年度がスタートしました。

一年前のこの時期は、桜の花をゆっくりと愛でる気持ちには、なかなか耐えられない日々を過ごした記憶があります。

大震災のもたらした教訓は、今後、決して忘れてはいけないものでしょう。そして、つながりをもち支え合う人間同士の関係も、失ってはいけないものです。

気持ちも新たに、未来をより輝かせるために、今できることをしっかりとやり、積み重ねていこうと考えています。

今年度も何卒よろしくお願いします。



### 「和」と「活力」にあふれる学校

昨年までと同様、私の目指す学校像です。

ここでいう「和」とは、

- 互いに尊重し合い思いやること
- 共に楽しく明るい生活を過ごすために協調すること
- 自然との調和を図ること など

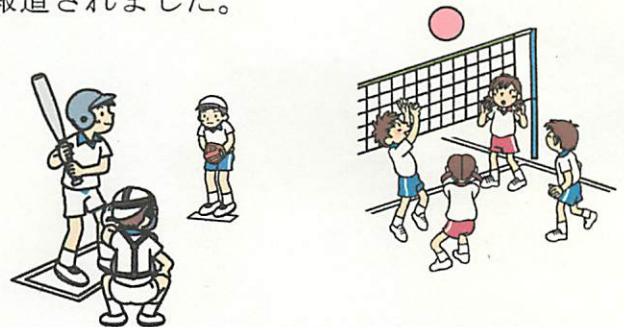
また「活力」とは、

- 意欲的に活動すること
- 個性や創造性を発揮すること
- 互いに学び合い磨き合うこと

などを指しています。

今年度は、学力向上や豊かな心の育成はもちろんですが、特に、体育や健康・安全教育を中心に、進んで活動する意欲を伸ばしていきたいと考えています。

30代・40代の方が運動する時間がとても少なくなっているという調査結果が、昨年報道されました。



仕事や子育てのために時間をとられ、運動する時間がとれないからでしょうか。

もちろん、30～40代の方の中にも、忙しい毎日を過ごしながらも運動している方は大勢いると思います。

何がちがうのか。理由は一つではないかと思いますが、大きな理由の一つが「好きだ」ということではないかと思います。

「好きこそものの上手なれ」ということわざがありますが、「好きこそ継続の源なり」とも言えるのではないのでしょうか。

自分が興味関心をもっていることに関して、人は時間を注ぐし、そのために他のことで少々忙しい思いをしても苦にならない。むしろ、好きなことに取り組めるという「楽しみ」「ご褒美」を目指し、他のこともがんばれるはずです。

運動に限らず、学習でも、音楽でも、読書等でも同じことがいえるでしょう。

したがって、「進んで活動する意欲」の基盤として、「楽しさを味わわせる」ことが大切であると考えます。子どもたちが、楽しんで活動できるようにすること、その活動の価値やよさを理解し、実感できるようにすることで、進んで活動することが好きな児童を育てることを目指します。